

☆平成23年市議会議員選挙での私の公約の検証!(A~Cランク)

【評価】

- A 全力で子どもたちを放射能から守る →▷学校、公園の除染完了。シンチエーションサーベイメーターにて放射能測定、給食、農産物測定
- B 議員定数削減 →▷平成25年に定数削減条例提出され賛成するが反対多数で否決。現在2削減発議案提出
- C- 新市民会館建設 →▷予算がつかず遅れ。「文化拠点施設整備調査研究業務報告書」作成され、市内7カ所の候補地
- B お年寄りが元気で暮らす街へ →▷市内5カ所の「高齢者なんでも相談室」。総合型地域スポーツクラブ補助を訴え
- A+ ネットで毎日の情報発信 →▷毎日更新のブログ, twitter, facebookにより緊急の情報発信。広報ビラ30~51号配布!

■その他の実績■▷駅前の中道の鷹匠による追い払い→1万6千羽から4千羽へ激減
▷フィルムミッションによる映画、ドラマロケ
▷「あびこの魅力発信室」設置
▷若い世代の定住化支援策の充実
▷産後ケア入院、通院補助の設置 等

【手賀沼の放射性物質対策～東大大学院森口教授の講義】

東京大学大学院の森口祐一教授による「原発事故による放射性物質汚染の推移と除染・環境回復-その概況と手賀沼などの河川・湖沼の問題-」の講演を受けました。以下要点を。

空間に放射性物質は浮かんでいる訳ではなく、土壌に付着しており、新しく放射性物質が降下している状況ではないということでした。

面積当たりのセシウム沈着量については、我孫子市、柏市などの汚染状況重点調査地域では、10万Bq/m²あり、空間線量に直すと約0.375μシーベルトに相当するということ。

都市濃縮では柏市の側溝破損箇所での57.5μシーベルトの空間線量が出た仕組みについて(クローズアップ現代でも)濃縮する理由についても説明してもらいました。広い屋根や道路など人工物に降った雨の通り道に土砂等があると溜まりやすいそうです。最後に手賀沼・流入河川の放射性物質汚染の推移について説明。千葉県による底泥中の深度別Cs濃度調査結果の図から、大堀川河口では明らか

な減少が見られ、根戸下では前回4-6センチが一番値が高かったのが、12-14センチに移り、沈んできているのが分かるとの事。

森口先生曰く、国の考え方は、「人の健康の保護観点から必要である地域については優先的に・・・除染実施計画を策定・・・」するが、**河川・湖沼については水による遮蔽によって生活環境への線量の影響が及び難いため、除染はごく限定的にしか適用されないとの事。**手賀沼については、底土をすると水が攪拌され、放射性物質が拡散してしまうので、やるとしたら**部分浚渫、また、砂で覆ってしまう**という土木作業もある。しかし、これについては国の補助は出ない方向にあるということでした。

私は手賀沼の放射性物質の流れについて官と学の協同研究を提案しましたが、千葉県や柏市も含めて考えてみるという回答。手賀沼の放射性物質の問題は、我孫子市にとってなかなか解決できない長い課題になりそうです

1972年 7月23日 大分市生まれ (楽観的なO型)
1995年:慶応義塾大学法学部政治学科卒業
1995年:大手小売業に入社
2004年:衆議院議員桜田義孝公設秘書
2007年:我孫子市議会議員初当選(2011年2期目当選)
◎趣味: ランニング(フル3時間12分)読書(漫画も)、テニス(連盟所属)、野球(連盟所属)
◎マイブーム: ラーメン食べ歩き、自転車、パソコン
◎家族: 妻、息子2歳
Twitter、Facebook、Instagramもやっています!

<一寸一言>

■8/29(土)には天王台北口にて「天王台ふれあい夏祭り」がまた天王台南口にて「天王台地区市民祭り」が開催されました。ふれあい夏祭りでは子供神輿や大人御神輿が、市民祭りでは中央学院高校の書道パフォーマンスや盆踊りなどが開催されました。



◎11月15日は市議会議員選挙!!
皆さん、棄権せずに選挙に行きましょう!
E-mail: info@kai-toshimitsu.com

☆「生き甲斐、やり甲斐、育て甲斐」

<主な役職>・環境福祉常任委員長/議会運営委員/都市計画審議委員/土地開発公社評議員/自民党我孫子市広報部長/放射能対策特別委員/隊友会/我孫子三田会

<地域活動>保護司/NPO法人手賀沼フィルムコミッション理事/我孫子市テニスクラブ/ウィングAC/交通安全推進隊